

日本初の銅

パラリンピック車いすラグビー



仲里、乗松ら活躍



日本―カナダ ボールをキープする仲里進||リオデジャネイロ

【リオデジャネイロ18日＝稲福政俊】リオデジャネイロ・パラリンピック最終日の第12日は18日午前(日本時間同日午後)、ウィルチエア(車いす)ラグビーの3位決定戦を行い、日本は52―50でカナダを下して銅メダルを獲得した。同競技でのメダル獲得は初めて。日本はパラリンピック4度目の出場で念願のメダル獲得となった。県内チーム「沖繩ハリケーンズ」に所属する仲里進(アディダスジャパン)＝浦添市、乗松聖矢(SMBC日興証券)＝熊本県＝も出場し、勝利に貢献した。

予選を2勝1敗の2位で通過した日本は、17日午後(同18日午前)、準決勝で豪州に57―63で敗れ、3位決定戦に回っていた。3位決定戦のカナダ戦は第1ピリオドからリードを保ち、終始優位に試合を進めた。

本大会、仲里は出場4選手の持ち点(障がいの度合いで各選手に配分する点数)を8点以内でバランスよく配置するバランス・ラインの一角で出場。確実な攻めとゴール前のキー・ディフェンスでチームに安定感をもたらした。

日本はロンドン大会の4位が最高成績だった。